

我々の罪を許したまえ：カトリック司祭がミサ中に一発食らう

【訳者注】この事件がどんないきさつで起こったのかは、どうでもよい。ただこれは、十分な象徴的意味をもっている。いろんな意味が考えられる。New World Order への、あらゆる偽善者どもへの、恥知らずメディアへの一発。なかんずく、眠りこけた我々一人ひとりへの覚醒の一発。特に、思いもよらなかった司教が、いきなり殴打される場所に意味がある。これでいいと思って生きている者は、みなこれを食らうべきである。

末尾に引いたコメントは、今はニュースなどではない。こんなことは、だいぶ前から世界中に知れ渡っている。バチカンとワシントンが、NWO という地下茎でつながっていることを、私はだいぶ前に指摘した（“ピザゲイト” で明らかになった、ペドフィリアでもつながっている）。ぜひこの2つをご覧願いたい——

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160127.pdf>

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160122.pdf>

RT (Newark Incorporated)

January 31, 2017

www.gifs.com/gif/r05PKK (一発お見舞い動画)

ミサの最中に、ある白服の男がニューアークの司祭の顔面にパンチを食らわせ、床に倒すという、恐るべき瞬間を撮影したフィルムが現れた。

ニューアーク大司教区の助祭 Manuel A. Cruz が、土曜日、会衆に対して免罪の儀式を行っていたとき、会衆の一人から殴打された。

聖心バシリカ教会のミサのビデオは、出席者の一人が何気なく祭壇に近づき、神の男にパンチを食らわせる様子を捉えている。

それは、クルーズ司祭が「我々の罪を許したまえ、そして永遠の命を与えたまえ」と、言い終えた瞬間に起こった。

3人の警備員が攻撃者を取り押さえ、祭壇の少年と会衆のメンバーがかけ寄って、倒れた司祭を調べた。ニューアーク市へ聞き合わせたところ、この日のミサは、プロ野球大選手のロベルト・クレメンテを追悼するものだった。司教は顔を負傷し、彼の十字架と白衣は“血まみれ”だったと、目撃者は [ABC 7](http://abc7ny.com/news/video-newark-auxiliary-bishop-attacked-by-parishioner/1728065/) に話した。 <http://abc7ny.com/news/video-newark-auxiliary-bishop-attacked-by-parishioner/1728065/>

Charles E. Miller、48歳が月曜日、この事件の犯人として、ニューアークのある裁判所に現れた、と NJ.com は報告している。

ミラーはエセックス郡の矯正刑務所において、この事件の事情聴取を待っている。この施設のデータベースによると、ミラーは、“悪質な攻撃行動”と“重大な身体への傷害”に関する罪状で裁かれる。

クルーズ司教は、病院で手当てを受けたが、現在は回復中で“元気”だという。

「お気遣いと、クルーズ司教へのお祈りを感謝します。彼は元気で、寺院の住宅に戻っています」と、ニューアーク大司教区は声明を出した。

[読者のコメントから]

教会の警備員たちの話がすべてを物語っている・・・

カトリック教会に対してはもっと多くの攻撃が必要だ。この犯罪組織についての**真理**は広く遠くまで、知らされねばならない。

彼らは宗教的な者たちではない。それは子供を取引し、マネー・ロンダリングをし、強欲で、人殺しで、人類の中でも最低の者たちから組織された犯罪企業——子供を性的に虐待する集団である。